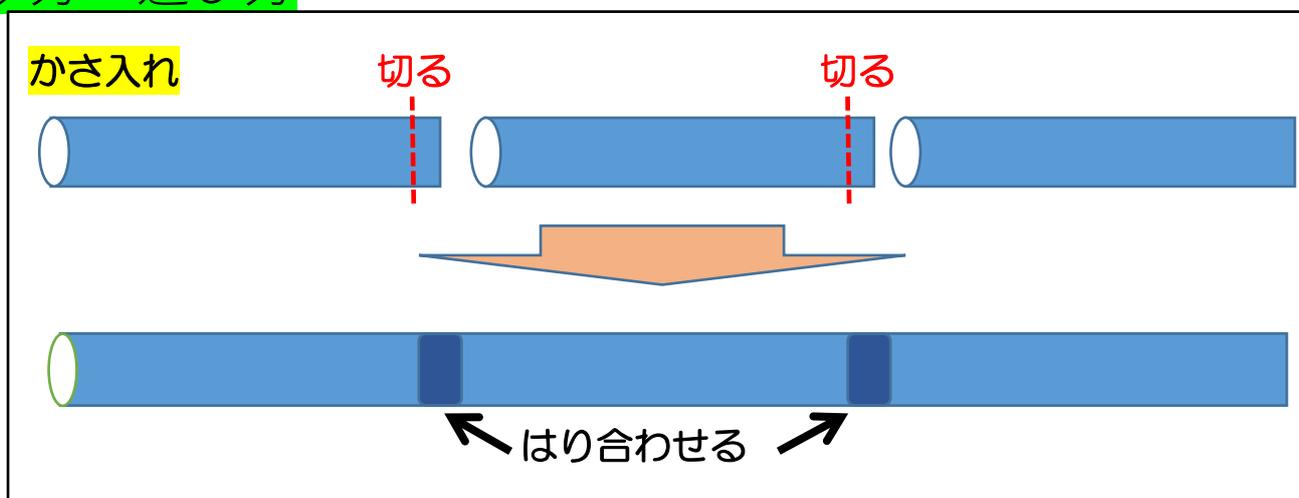


# おもしろ理科②⑤親子

大人の身長よりも長いポリ袋がひと息で  
ふくらむなんて…。

**準備** ・ポリ袋のかさ入れ3枚 または20×30cmポリ袋5～6枚

## 作り方・遊び方



- ①図のように、2枚のポリ袋のはしを切り取ります。
- ②3枚のポリ袋を、セロハンテープなどで空気がもれないようにはり合わせて一つの袋にします

できあがった袋に息を吹き込んでみてください。どれくらいふくらんだでしょうか？

あまりふくらまなかったのではないのでしょうか？

息 →



- ③ポリ袋の口を指で広げながら、1.0～1.5cm位はなれたところから一気に息を吹き入れます。

ポリ袋は、一息で全体がふくらみます。

## なぜ 一息で全体をふくらませることができるのか

静止している空気（まわりにある空気）と勢いよく吹き込んだ空気（はいた息）は、空気が完全に分かれているわけではありません。吹き込んだ空気と静止している空気が接している部分では、空気が混じり合います。そのため、両方の空気のかたまりがおたがいに引っ張り合い、速度の速い空気の方がおそい空気を引きずって移動します。

袋に口をつけて吹くと、はいた息の分の空気しか袋に入りませんが、少しはなれたところで吹くと、はいた息はまわりの空気を引きずりながら袋の中に入っていくので、はいた息の分の空気より多くの量が袋に送られることになり、一息でふくらますことができます。

